

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

令和元年度

市町村名	蕨市					
提案事業名	蕨駅東口コミュニティ・ショッピング通りのシンボルとなる末広公園改修事業					
事業期間	平成29年度 ～ 平成29年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 市民意識調査における「駅周辺の整備」の満足率					
	(成果検証の具体的な方法) 平成28年度及び平成30年度の市民意識調査における「駅周辺の整備」の満足率を比較する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	C	
	従前値 (28年8月時点)	22.56%	目標値 (30年8月時点)	23.63%	実績値 (30年6月時点)	19.29%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		ホームページ				

【事業効果の整理・原因分析】

平成29年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 末広公園改修事業	△	蕨駅東口コミュニティ・ショッピング通りにあった大規模小売店が平成28年10月に閉店した影響等で、「駅周辺の整備」における満足率が従前値よりも低下したと考える。しかし「公園緑地の整備、身近な緑と花の充実」における塚越地区（蕨駅東口側）在住者の満足率は上昇しており、魅力ある地域拠点の整備について一定の効果が認められると考える。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市民意識調査における塚越地区在住者の回答について、住みたいと思う理由に「まわりに緑や公園が多いから」を選択している方の割合や、「公園緑地の整備、身近な緑と花の充実」の満足率が上昇していることから、末広公園改修事業について一定の効果が認められると考える。
実施事業について 成果が不十分である点	子どもから高齢者まで幅広い世代が一緒にふれあえる公園として整備することができたが、大規模小売店閉店の影響により、効果的なにぎわいの創出に課題が残った。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	末広公園は地域住民の憩いの場であり、市民との協働のもと適正な維持管理等に努めることで、蕨駅東口駅前周辺全体の更なるにぎわいの創出を図り、子育て世代の定住促進に継続して取り組む。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 \geq (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値-従前値) \times 60%+従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない